

# 弾性ウレタンカラー

特 長

用 途

荷 姿

危険情報と安全対策

標準施工仕様

性能試験成績表

弾性ウレタンカラーは、溶剤形二液反応硬化タイプの特種ポリウレタン樹脂を結合材として用いた弾性仕上材です。柔軟で強靱な塗膜は、耐候性に優れ、長期に亘り建築物を保護し、防水形複層仕上塗材の上塗材として最適です。

1. 耐水性、耐アルカリ性に優れ、長期に亘り優れた光沢を維持します。
2. 外部用として優れた耐候性を発揮します。

- ① 各種防水形複層仕上塗材の上塗り
- ② 各種改装工事

★弾性ウレタンカラー 主剤 12kg石油缶、4kg缶  
 ★弾性ウレタンカラー 硬化剤 3kg缶、1kg缶  
 (標準塗坪：42~60㎡/15kgセット、14~20㎡/5kgセット)  
 ★ウレタンシンナー 16ℓ石油缶

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、「危険情報と安全対策」をよくお読みください。

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗 回 数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	最終養生	
弾性ウレタンカラー 主剤	100	0.25~	2	1 以上 7 日以内	24以上	ローラー、刷毛 エアレスブレードガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
弾性ウレタンカラー 硬化剤	25	0.35				
*1 ウレタンシンナー	30~80	—				

- \*1. ウレタンシンナーの希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「50~80」、ローラー・刷毛塗り時で「30~50」となります。
- \*2. 弾性ウレタンカラーは被層仕上塗材の上塗りとしてのみ使用が可能です。平滑工法は行わないでください。
- \*3. 調合は所定の割合を厳守してください。また、混合後の材料は、缶に表示の可使用時間（5時間）以内に使い切ってください。
- \*4. 希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- \*5. 押出成形セメント板・GRC板・PC部材などには、下塗材として★ミラクシーラーEPO（15kgセット）をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。

JIS K 5656 建築用ポリウレタン樹脂塗料(2003)による物性試験

項 目	結 果	品 質
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
乾燥時間	標準状態	8時間以内
	5℃	16時間以内
ポットライフ	合 格	5時間で使用できるものとする。
塗膜の外観	合 格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率(白及び淡彩)	93	90以上
鏡面光沢度(60度)	85	80以上
耐衝撃性(落球式)	合 格	おもりの衝撃で塗膜に割れ及びはがれが生じてはならない。
付着性(クロスカット法)	合 格	分類1以下であるものとする。
重ね塗り適合性	合 格	重ね塗りに支障があってはならない。
耐 酸 性	合 格	(7日間)酸に接したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合 格	(7日間)アルカリに接したとき異常がないものとする。
耐湿潤冷熱繰返し性	合 格	湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。
促進耐候性	合 格	塗膜に、割れ・はがれ・膨れがなく、光沢保持率は70%以上で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下であるものとする。
屋外暴露耐候性	合 格	塗膜に、割れ・はがれ・膨れがなく、色の変化・つやの変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が3以下であるものとする。